



第72回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

☆『銀河の図書室』 名取 佐和子／著（実業之日本社）

高校の図書室で宮沢賢治を研究する弱小同好会・イーハトー部。部長だった風見先輩はなぜ突然消えてしまったのか——先輩が残した「ほんとうの幸いは、遠い」というメッセージに秘められた謎が、深く心に響きます。

☆『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ 著 山田 文 訳 金原 瑞人 選（作品社）

ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい、傷つけあっていく。安全を求め旅に出た家族。自分の思いをことばにできない少女は亡き母にあてて、揺れる心を日記につづる。『アンネの日記』をほうふつとさせる傑作。

☆『コードのぼくが見る世界』 五十嵐 大／著（紀伊國屋書店）

聴こえない／聴こえにくい親のもとで育つ聴こえる子ども＝「コード」。ろう者と聴者のはずまで生きる経験を通じ、言語やコミュニケーションの大切さ、自分と異なる人の立場を想像する難しさを知るノンフィクション。

（書籍の画像・紹介文はSLAのホームページより）



★課題図書は3冊とも図書館に入っています。借りたい人はお早目に!!



読書感想文を書くコツ

- ★本を読み終えたときにずっしりと心に残るものがあれば、感想や疑問点、要旨などをメモしておこう。
- ★心揺さぶられる本との出会いの機会を得るためには、たくさんの本と出会うことです。現在に自分にはないもの、気づいていないものを発見するとき、自分の中にある欲求や意識が目覚め、心揺さぶられること、つまり感動が生まれるのです。
- ★強い感銘を覚えたが、どのように文章に書けばよいのか困ってしまうという場合は、まず一言書いてみよう。強く印象に残ったところから書き始めてみよう。単なるあらすじの記述にはならないように注意し、やがては主題に迫る自分の考えが述べられるようになれば、しめたものです。（『らいぐらり』より）



夏季休業中図書館利用案内

☆ 開館日&開館期間 : 7月22日(火)～25日(金)・7月29日(火)*登校日

8月19日(火)～22日(金)

☆ 開館時間 : AM9:00～PM3:00

☆ 貸出冊数&貸出期間 : 1人 5冊まで

*進学ゼミの開講日と登校日に開館しています！

* 7月22日(火)～25日(金)の期間中に借りた本は、8月19日(火)以降に返却したのでOK！

おすすめ新着図書

『カフネ』 阿部 暁 子／著（講談社）

2025 年本屋大賞・第 8 回未来屋小説大賞・第 1 回あの本、読みました？大賞受賞作。一緒に生きよう。あなたがいると、きっとおいしい。やさしくも、せつない。この物語は、心にそっと寄り添ってくれる。食べることは生きること。二人の「家事代行」が会う人びとの暮らしを整え、そして心を救っていく。（講談社公式サイトより）

『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈／著（新潮社）

唯一無二の主人公、再び。その前途、誰にも予測不能！（新潮社公式サイトより）
前作『成瀬は天下を取りに行く』（2024年本屋大賞受賞作）も、本校図書館に入っています。

図書委員おすすめ本！今月は「ぞっとする本」「涼しくなる本」です！

★34R 片山 勝利さん おすすめ★

『リング』 鈴木 光司／著

★映画化もしている、日本のホラー小説の代表格。

『お前の彼女は二階で茹で死に』 白井 智之／著

★ 容姿がミミズに近い状態になる病気がある世界の話。

★34R 門田 有未さん おすすめ★

『予言の島』 澤村 伊智／著

★ 瀬戸内海の霧久井島を舞台に、霊能者の予言が現実となって、島を訪れた人々が次々と不可解な死を遂げる物語。

『クール・キャンデー』 若竹 七海／著

★ 女子中学生の渚が、殺人の嫌疑をかけられた兄を助けるために事件を追う青春ミステリー。

